

目的 私達は既製服ジージパンの動作適応性の検討を目的に着装実験を行い、既に腰部横断面の測定によって、その形状に及ぼす影響について報告した。本報では、そのジージパンの影響をさらに明確にするために衣服圧計測を行い、以下に述べる姿勢のおののにおに関する腰部の衣服圧分布について報告する。

方法 前報と同じく、被験者は成人女子1名で、試料ジージパンはストレート、スリム、ウエストゴム入りを用了。衣服圧計測は豊田中央研究所製の座圧計を用了、測定部位の各囲を16分割した点で同時計測した。測定部位は前報と同じ胴囲・臍点囲・腹囲とし、測定姿勢は静立・中腰に椅座位を加えた。また、腰部の衣服圧分布をみるために、測定部位を胴囲より下へ2 cm間隔に設定し、椅座位姿勢で計測した。

結果 ①中腰姿勢の衣服圧は、形状差とほぼ同傾向を示し、ジージパンのほとんどの部位において前部及び側部の圧迫が大きく後部は小さい。ジージパンの種類別ではストレート及びスリムの圧迫が大きくウエストゴム入りは小さい。ただし、ストレート及びスリムの腹囲は形状差以上の衣服圧を示した。②椅座位姿勢の衣服圧は中腰と同傾向を示すが、中腰に比べほとんどの部位で衣服圧は減少する。しかし、ウエストゴム入りは姿勢による衣服圧変化が小さい。③椅座位姿勢の衣服圧分布をみると、ストレート及びスリムは前部全体に圧迫が大きく、また、ジージパンの後ろが引き下げられるため側部と後部下位に圧迫が大きい。ウエストゴム入りは姿勢変化による人体への圧迫が小さい。